

## 箭田(倉敷)住民歓迎へ準備



水仙や越前がにをカラフルに描く児童  
=27日、福井市日之出公民館

### 日之出児童 特産品絵描く

福井市日之出地区が交流を続ける岡山県倉敷市箭田地区の住民が3日に日之出地区を訪れるのを前に、地元の子童が福井の特産品などを画用紙に描いた。日之出公民館で開かれる歓迎式で活用する。

両地区の交流は2004年度に福井市で開かれた「まちづくり全国交流大会」がきっかけで始まった。両地区のまちづくり協議会が主体となり、年度ごとに交互に住民が訪問している。

本年度は3、4日に箭田地区から小中学生ら約30人が来訪し、日之出地区の小中学生ら約30人が出迎える。歓迎式では互いのまちを紹介し合い、

県立恐竜博物館に行ったリスキーを楽しんだりして交流を深める。

準備作業は27日に同公民館で行われ、日之出小6年生3人が越前がにや水仙、福井国体の公式マスコットはぴりゅうなどをカラフルに描いた。前側愛実さん(12)は「一緒にスキーをしたりおしゃべりしたりするのが楽しみ。福井のいいところを知ってほしい」と話していた。(大久保直輝)